

県政の主な動きをお伝えします。

ホームページ「[こちら知事室です](#)」に、定例記者会見のようすや県政の考え方も掲載しています。また、「[奈良県フォトニュース](#)」(www.pref.nara.jp/43322.htm)で県内のニュース等を写真と記事でお伝えしています。ぜひご覧ください。



国文祭 障文祭 なら2017

9.1 FRI → 11.30 THU

第32回国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

やまとしうるはし、おもしろし

ご参加、ご協力ありがとうございました！



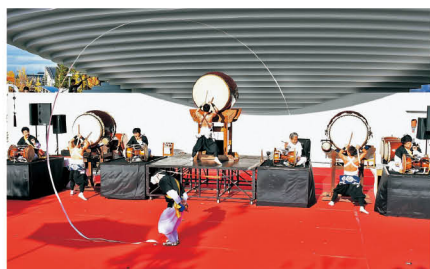
11月26日 フィナーレ「閉会式」(奈良市)



11月25日 フィナーレ「大和のまつり」(五條市)



11月30日 ファイナルイベント(奈良市)



11月11・12日 NARA・国際フェスティバル(天理市)



11月18日 みんなでDUO♪ DUO♪(三宅町)



11月5日 合唱の祭典in奈良(大和高田市)



11月3日 車いすダンスパフォーマンス(奈良市)



10月7日 秘境に鼓舞する文化の風(野迫川村)



11月19日 吉野歴史悲話ヒストリア南朝哀史(吉野町)

東大寺大仏殿前での開会式に始まった両祭典は、県内全域においてさまざまな文化・芸術イベントを開催し、11月26日の閉会式で次期開催県となる大分県に引き継ぎました。9月1日～11月30日までの3カ月間にわたり多くの人が参加・交流し、盛況のうちに閉幕しました。

今回、全国初の取り組みとして「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」を一体開催したことで、障害のある人もない人もともに楽しみ盛り上げられました。今後は、県独自の文化・芸術の取り組みである「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者芸術祭」に両祭典の成果を継承し、文化の力で奈良を盛り上げていきます。

問 県国民文化祭・障害者芸術文化祭課 ☎0742-27-8478 FAX 0742-27-8466

創立100周年 奈良県産業振興総合センター

県産業振興総合センターは、前身の奈良県工業試験場が大正6年に創立してから、100周年を迎えました。11月13日には、なら100年会館（奈良市）で記念式典を開催し、企業経営者・産業支援機関関係者ら約220人が参加しました。

式典では荒井知事より、「センターは県内企業の競争力・技術力強化のための支援組織であり、産業強化の手立てを皆さまと意識を共有して推進していきたい」とあいさつがありました。



式典のようす

その後、大和郡山市出身の国立研究開発法人理化学研究所 松本紘理事長より「グローバル化時代における産業発展に学術研究が果たす役割」、同じく大和郡山市出身のDMG森精機株式会社 森雅彦代表取締役社長より「奈良から世界へ」と題して、グローバル化社会の中での企業の発展・人材育成などについて記念講演があり、盛況のうちに終了しました。

県産業振興総合センターは、今後県内企業を技術面・経営面の両輪で支援する体制を強化していきます。



森代表取締役社長



松本理事長

問 県産業振興総合センター ☎0742-33-0863 FAX0742-34-6705

奈良県立ろう学校在国大会で優勝

10月1日に鳥取市で行われた「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」で、県立ろう学校演劇部が2年ぶり2回目の優勝を果たしました。優勝作品「ティアーズ・イン・ヘヴン」は童話作家の工藤直子さんの原作「ねこはしる」を、「いのちのつながり」をテーマに脚色し、自分たちの最高のパフォーマンスで演じ切りました。

また10月20日～22日に静岡市で開催された「第54回全国聾学校陸上競技大会」では、同校陸上部が32年ぶりの女子総合優勝を果たしました。女子100m・200m・400mのそれ



優勝を報告

それぞれ1位を獲得したほか、400mリレーでは29年ぶりの大会新記録で優勝しました。11月22日に、演劇部と陸上部の部員8人が荒井知事を表敬訪問し、優勝を報告しました。荒井知事は「今後も活躍を期待しています」と激励し、最後には一人一人の生徒と握手を交わしました。



陸上部



演劇部

問 県立ろう学校 ☎0743-56-2921 FAX0743-56-8833